

総括シンポジウム アンケート (H29.2.15)

【回答総数】 28 (参加者 100 名 回答率 28%)

性別	【男性】 19 【女性】 9
所属	【神戸大】 15 【関学】 2 【県立大】 9 【その他】 2
職名	【教員】 11 【職員】 16

Q1. 本シンポジウム全体はどうでしたか？

【大変良かった】 10 【比較的良かった】 18 【あまり良くなかった】 0  
【良くなかった】 0

Q2. このシンポジウム全体、又は各々の講演・報告に関するご感想、ご意見がありましたらご記入ください。

- ・女性教員のキャリアを支援する上で参考になった。無意識のバイアスは重要な指摘なので、今後意識するようにしたい。
- ・継続のために文科省からの永続的な経費支援があることが望ましい。
- ・文科省の室長、日経 BP の副社長さんの説明、非常に興味深く聞かせて頂きました。最新の状況ありで分かりやすく、女性のためにではなく、組織活性化のためとのお話、人事など全てに共通する幅氏と想いを深めました。
- ・シンポジウムの趣旨から講演等の中身が「働く女性の職場での活躍」ファーストになるのは当然かもしれませんが、働く女性の中には「育児・家事の場での活躍」に重きを置いていらっしゃる方もいるのではないのでしょうか。そういう方の「職場における活躍」について考えることも必要かと思えます。
- ・女性研究者の参画で、大学機能強化として、また研究レベルにおいてどの様な向上が達成できたかを知りたかった。
- ・説得的、具体的であった。
- ・麓氏のご講演が大変勉強になりました。また、文科省の方のお話で、ダイバーシティや男女共同は目的ではなく、ある目標を達成する為の手段だとおっしゃっていた。自身も常々思っていたことであり、影響力のある立場の方の発言は力強いと感じました。大学にとっては研究力の向上が目標となり、それに向けての手段ととらえられると思いました。
- ・他大学での女性研究者支援の事例や、研究者本人の事例など具体的に聞いて良かった。
- ・麓さんの講演がおもしろかった。六甲ホールの音響が非常に悪い。言葉が聞き取りにくいホールで、何を言っているのか分からないときもあった。

- ・麓さんの話はとても分かりやすく、何をすべきかの確だった。全体的にとっても参考になった。
- ・日経 BP の麓さんの話がとても面白かった。参考になりました。
- ・女性支援の方向性がみられて良かった。
- ・日経 BP の麓先生のお話がとても良かったです。アカデミックな世界に住む私にとっては日本社会の今が良く分かり、これからの若い人たちを教育する立場である私としてはとても参考になりました。
- ・麓氏の講演がとても良かった。
- ・文科省来賓講演：具体的データを示しながら、日本の現状や今後の動きについて説明が聞けて良かった。ダイバーシティ、女性活躍推進を（男女共同参画）を推進することが目的・ゴールではないという言葉が印象的だった。（あくまで理想とするものへの手段）
- ・麓氏講演：多くの企業の事例を交えながら、今マインドチェンジをしないといけないという強いメッセージを感じられ、大変関心深い内容だった。
- ・3大学の協力がみえた。プロモーションメンターは良い制度だ。
- ・PI の共同研究が少しわかった。鈴木さんの昇進はすばらしい。
- ・PI に対する的確で厚いサポート体制はすばらしいと思いました。

Q3. 本セミナー開催に関する情報をどこで知りましたか？

【ホームページ】2 【ポスター】3 【所属部局からのメール】22  
【その他】3

Q4. 三大学連携で実施している女性研究者支援事業について、何かご存知でしたか？

【よく知っている】17 【聞いたことがある】10 【全く知らなかった】1

Q5. 三大学連携における男女共同参画推進、女性研究者支援等について、ご要望、ご意見等がありましたらご記入ください。

- ・人事の採用、昇任の全体数が少ない今、たいへんだと思いますが、女性の教授をぜひ増やして下さい。
- ・学生へのアピールが必要ではないか。
- ・大学と文科省が頑張っても限界がある。社会全体で意識改革を進めないといけない。
- ・継続的で発展的な支援をお願いいたします。
- ・妻が研究者かどうかにかかわらず、イクメン研究者を増やす施策を行って欲しい。
- ・PI の共同研究が少しわかった。鈴木さんの昇進はすばらしい。